

2026年12月期 第2四半期 決算説明資料

CFD収益が高水準、金融収益も伸長し上期累計で過去最高業績に

2026年8月5日
GMOフィナンシャルホールディングス株式会社

アジェンダ

- 01 決算概要
- 02 事業の状況
- 03 Appendix

エグゼクティブ・サマリー

- 営業収益295.4億円、営業利益103.5億円となり、上期累計で過去最高業績を達成
- CFD収益は過去最高益のQ1'26比で減少も高水準を維持、金融収益の伸長も業績に寄与

FY26 Q2 ハイライト

● 証券・FX事業

店頭FX：外国為替市場のボラティリティ低下等を背景に取引量が減少し、前年同期比で減収
CFD：セールスミックスの変化によりQ1'26比で減収も、売買代金・収益とも高水準を維持
株式：活況な相場を受け売買代金が急増、投資の入り口として他商品へのクロスセルに期待
金融収益：金利上昇を背景とした預託金運用収益の伸長に加え、信用取引収益も増加

● 暗号資産事業

ビットコインを中心に市場が軟調に推移し減収減益、ステーキング収益も市況を受け減少
暗号資産口座は2026年4月に80万口座を突破し、顧客基盤は順調に拡大

● 株主還元の強化（配当性向65%以上+DOE10%の下限指標を導入）

配当性向65%に基づく配当額がDOE10%の下限を上回ったことを踏まえ、配当予想を上方修正
Q2'26の1株当たり配当金は14.45円に（2026年4月公表予想比：四半期ごと0.76円、年2.26円の上方修正）

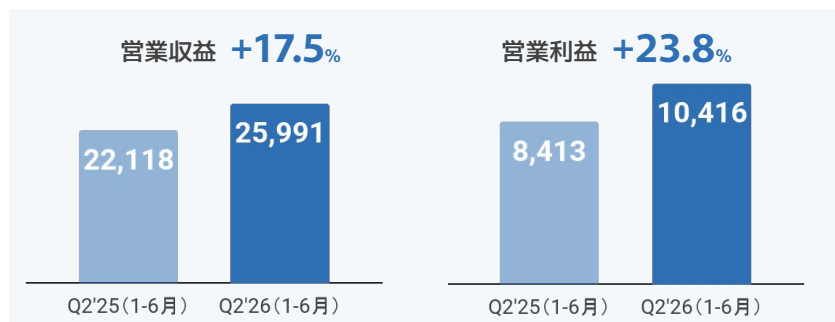
Q2'26（1-6月） | 決算サマリー（前年同期比）

CFD収益と金融収益が好調に推移し、上期累計で過去最高業績を達成

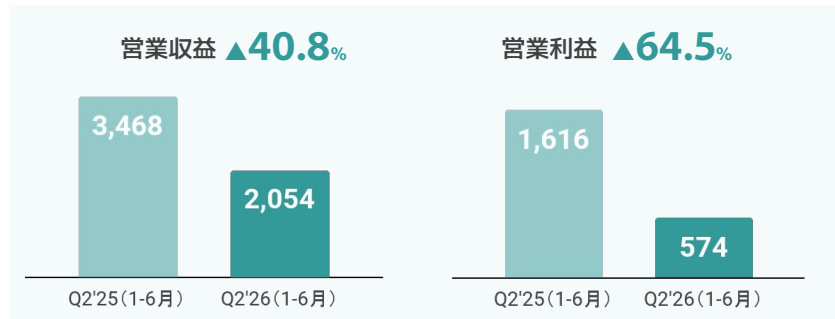
(百万円)	Q2'25	Q2'26	Y/Y	
	(1-6月)	(1-6月)	増減額	増減率
営業収益	26,893	29,544	+2,650	+9.9%
純営業収益	25,026	27,095	+2,069	+8.3%
営業利益	9,776	10,350	+573	+5.9%
(営業利益率)	36.4%	35.0%	—	▲1.3pt
経常利益	9,054	10,261	+1,207	+13.3%
最終利益	6,211	6,524	+312	+5.0%

Q2'26（1-6月） | セグメント別の状況（前年同期比）

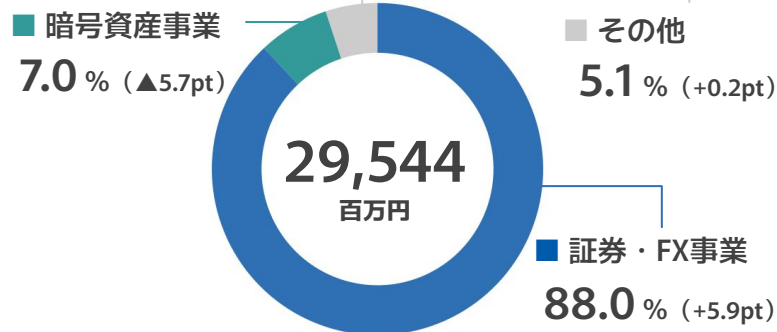
■ 証券・FX事業（単位：百万円）



■ 暗号資産事業（単位：百万円）

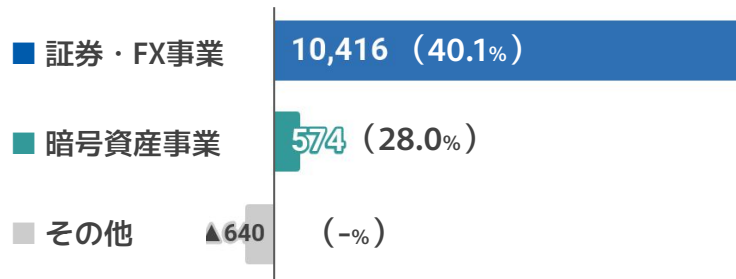


営業収益の構成比率



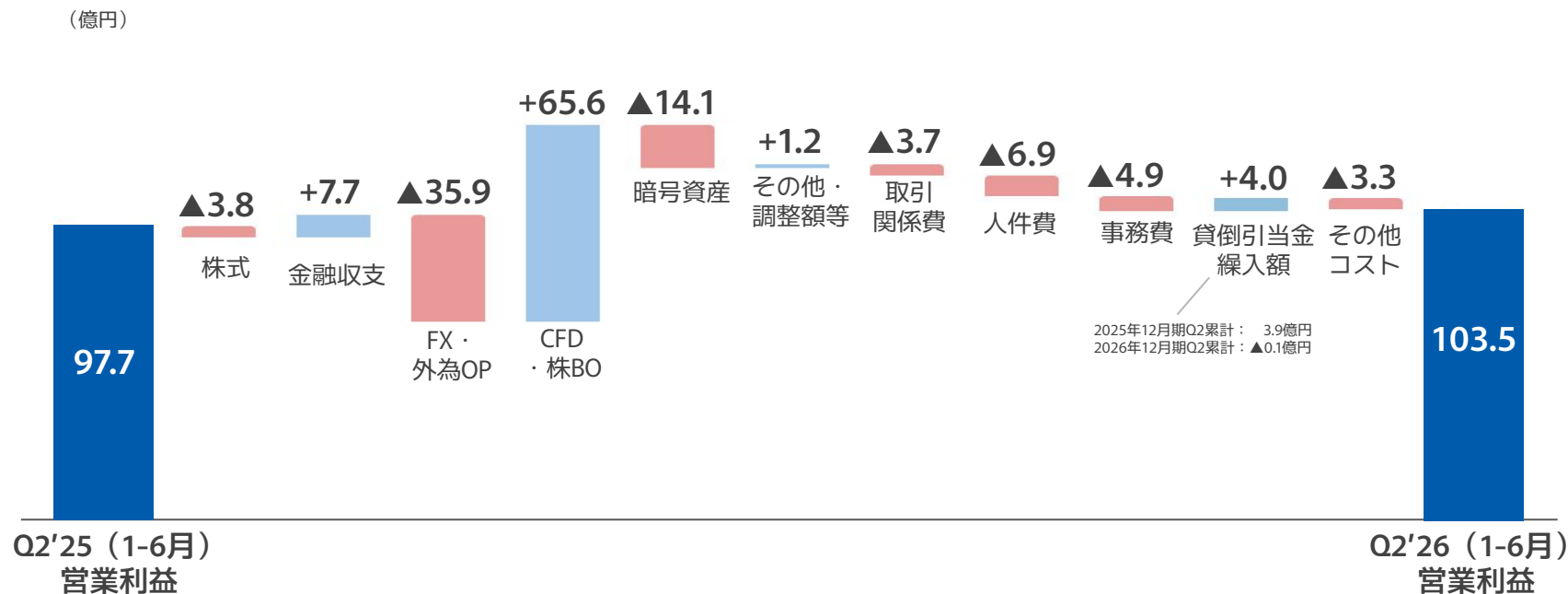
※構成比は表示単位未満を四捨五入しています。

営業利益（営業利益率）（単位：百万円）



Q2'26（1-6月） | 営業利益増減（前年同期比）

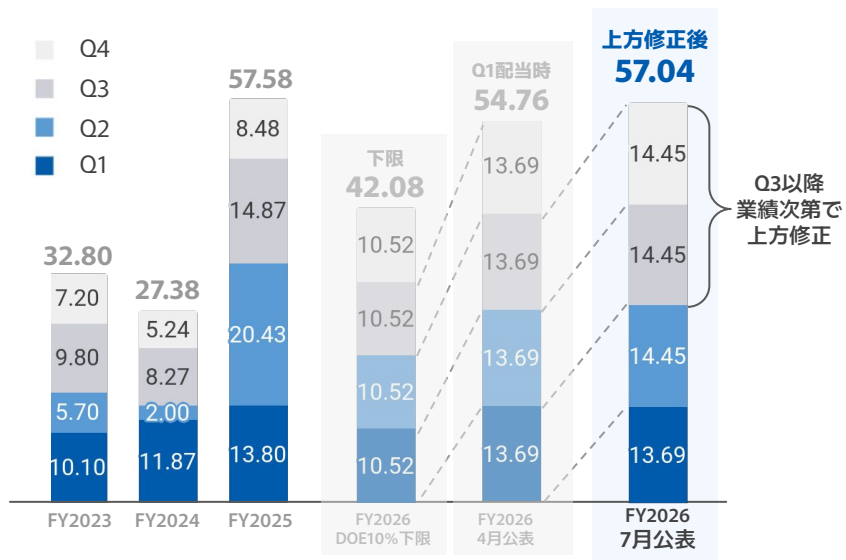
CFD収益が店頭FX及び暗号資産の減収を補い、金融収益の伸長も増益に寄与



株主還元 | 配当

配当予想を上方修正し、Q2'26の1株当たり配当金は14.45円（年57.04円）に

1株当たり配当金の推移と配当予想（円）



2026年12月期の配当方針

下限指標DOE10%を導入し、1株当たり配当金の下限を年42.08円として親会社株主に帰属する当期純利益に対する配当性向65%以上を目途に、四半期ごとに配当

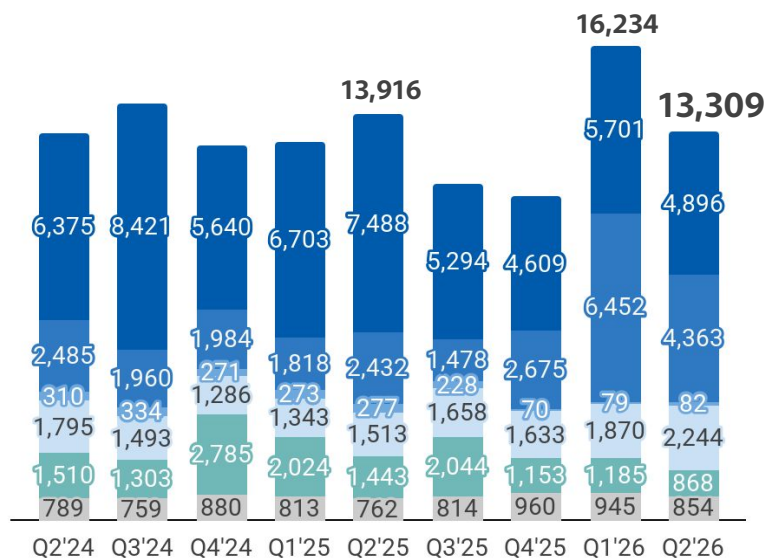
Q2'26実績に基づく配当性向65%相当額がDOE下限を2.26円上回ったため、当該上振れ分をQ2～Q4に0.76円ずつ均等配分

	実績	確定	予想		
	Q1	Q2	Q3	Q4	合計
FY2026					
DOE10%下限	10.52	10.52	10.52	10.52	42.08
4月公表	13.69	13.69	13.69	13.69	54.76
7月公表	—	14.45	14.45	14.45	57.04
(DOE10%下限比)	+3.17	+3.93	+3.93	+3.93	+14.96

※ 配当下限額42.08円は、前期末の連結株主資本に対して10%を乗じた金額を元に算出しています。

四半期業績推移 | 営業収益（セグメント別/商品別）

（百万円）

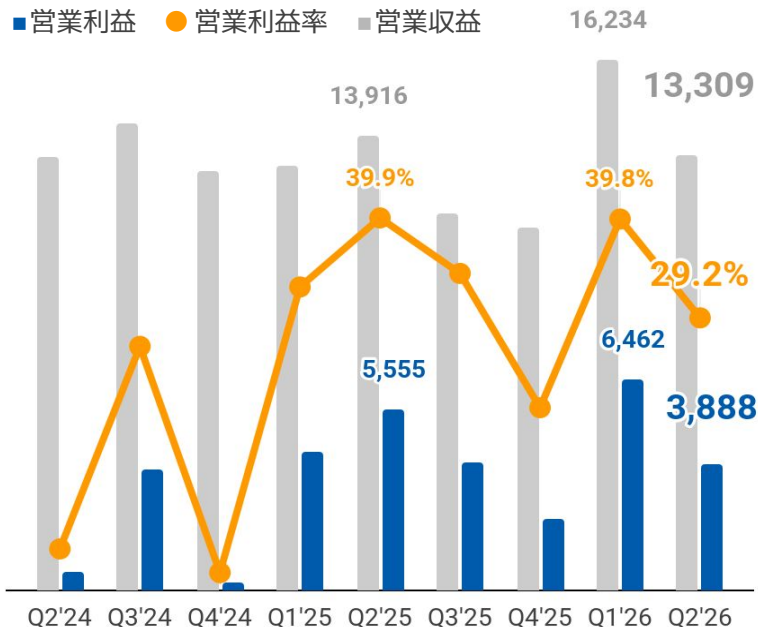


CFD収益が高水準を維持、
金融収益も伸長し業績を下支え

	Q2'25 (1-6月)	Q2'26 (1-6月)	増減率
■ FX・外為OP	14,191	10,597	▲25.3%
■ CFD・株BO	4,250	10,815	+154.4%
■ 株式等	550	161	▲70.7%
■ 金融収益	2,856	4,115	+44.1%
■ 暗号資産	3,468	2,054	▲40.8%
■ その他	1,576	1,800	+14.2%
合計	26,893	29,544	+9.9%

四半期業績推移 | 営業利益・営業利益率

(百万円)



Q1'26比でCFD収益が反動減
固定費負担率の上昇により、
営業利益率は低下

営業利益

前Q比

前年同Q比

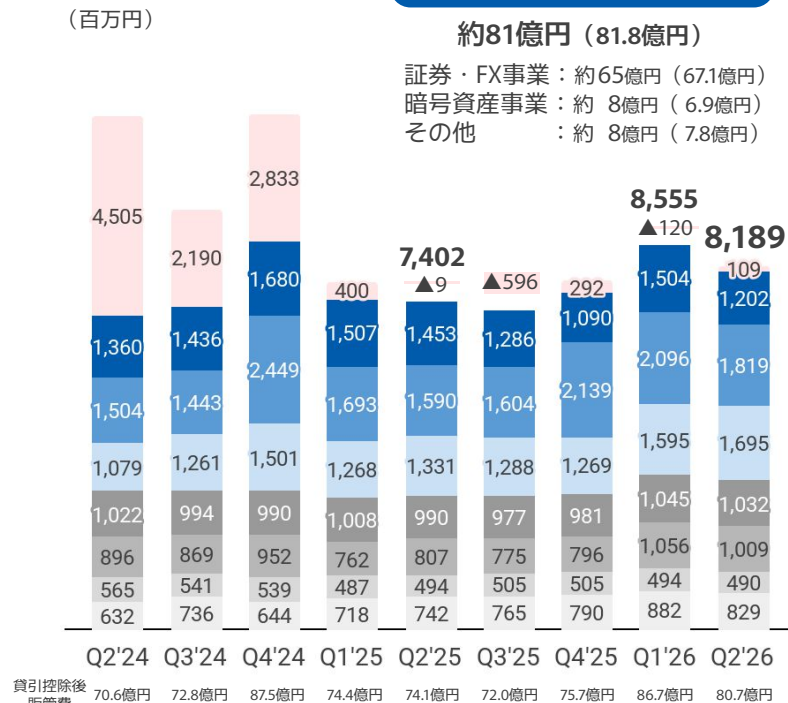
▲39.8% ▲30.0%

四半期業績推移 | 販売費及び一般管理費

Q3'26見通し (Q2'26実績)

約81億円 (81.8億円)

証券・FX事業：約65億円 (67.1億円)
暗号資産事業：約8億円 (6.9億円)
その他：約8億円 (7.8億円)



※ 見通しには貸倒引当金繰入額を含んでおりません。

販管費は概ね想定どおりに推移

	Q2'25 (1-6月)	Q2'26 (1-6月)	増減率
貸倒引当金繰入額	390	▲11	—
取引関係費 除、広宣費	2,960	2,707	▲8.6%
広告宣伝費	3,284	3,916	+19.2%
人件費	2,600	3,291	+26.6%
不動産関係費	1,999	2,078	+3.9%
事務費	1,570	2,066	+31.6%
減価償却費	982	984	+0.2%
その他	1,461	1,711	+17.2%
合計	15,249	16,745	+9.8%

アジェンダ

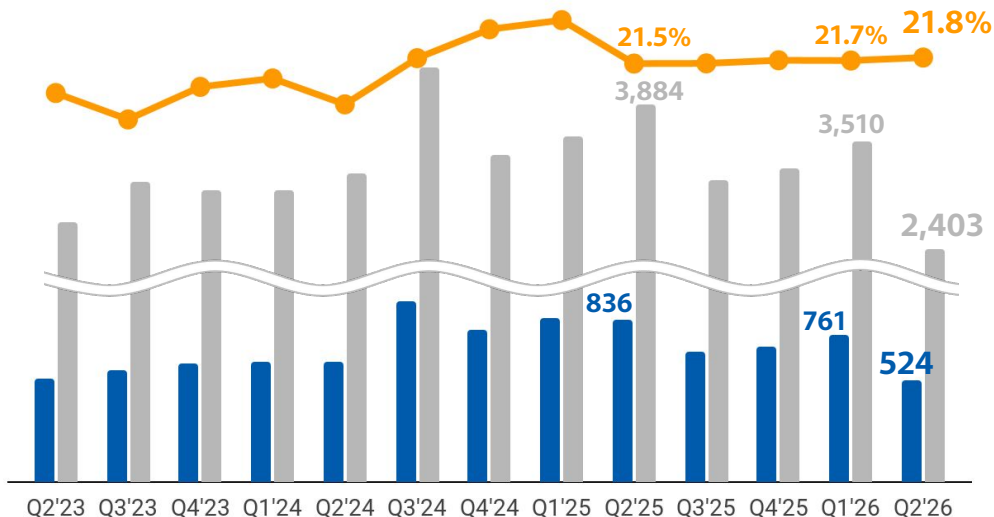
- 01 決算概要
- 02 事業の状況**
- 03 Appendix

証券・FX事業 | 店頭FX国内取引高シェアの推移

GMOクリック証券 GMO外貨 GMOコイン

(兆円)

■取引高 ●国内取引高シェア ■業界全体取引高



Q2'26取引高シェア

21.8%

取引高シェアは安定して推移

<取引活性化に向けた取り組み>

GMOクリック：FX取引販促キャンペーンを実施

GMO外貨：スプレッド縮小キャンペーンを実施

GMOコイン：高金利通貨ペアや自動売買と
相性の良い通貨ペアなど、計7通貨ペアを追加

金融先物取引業協会「店頭FX月次速報」より当社作成

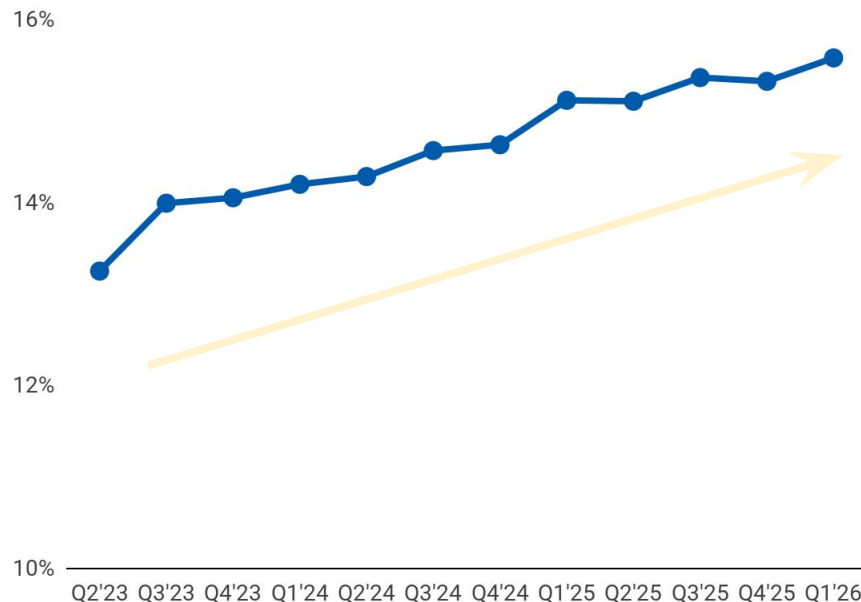
※取引高は、GMOクリック証券、GMO外貨及びGMOコインの3社合算ベースで表示しています。Q3'23まではFXプライムbyGMO（同年9月にGMOコインと合併）の数値、Q3'23以降はGMOコインの数値です。

※国内取引高シェアは、金融先物取引業協会公表数値を市場全体として算出しています。

※業界全体取引高は、当社数値及び取引高シェアとの同一グラフ上での視認性を高めるため、実数値を併記のうえ、グラフ上は1/2スケールで表示しています。

証券・FX事業 | 店頭FX取引人数（QAU）シェアの推移

GMOクリック証券 GMO外貨 GMOコイン



Q1'26 QAUシェア

15%超

取引人数シェアは緩やかに上昇

<顧客基盤の拡大に向けた取り組み>

GMOクリック：共通ID「1アカウント」を通じた
新規FX口座開設・取引キャンペーンを実施

金融先物取引業協会「四半期統計データ」より当社作成

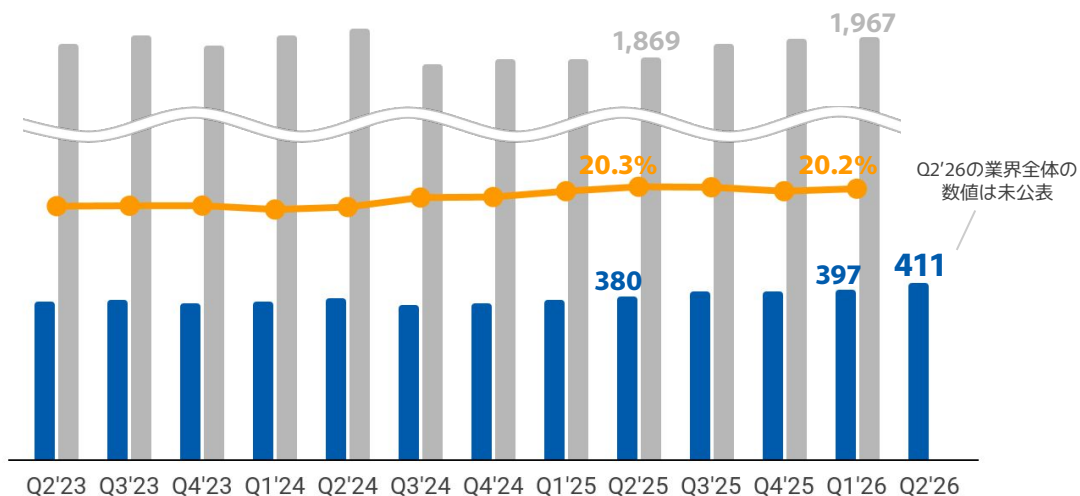
※QAUシェア（四半期でのユニーク取引人数のシェア）は、金融先物取引業協会公表数値を市場全体としてGMOクリック証券、GMO外貨及びGMOコインの3社合算ベースで算出しています。

証券・FX事業 | 店頭FX預り証拠金残高の推移

GMOクリック証券 GMO外貨 GMOコイン

(10億円)

■ 預り証拠金残高 ● 預り証拠金残高シェア ■ 業界全体預り証拠金残高



前年同Q末比

+8.2%

緩やかな増加傾向で推移
Q2'26もGMO外貨の伸びが貢献

GMOクリック証券：+171.5億円
GMO外貨：+142.8億円
GMOコイン：▲3.7億円

金融先物取引業協会「四半期統計データ」より当社作成（直近四半期（2026年4月-6月）は未公表）

※預り証拠金残高は、GMOクリック証券、GMO外貨及びGMOコインの3社合算ベースで表示しています。

Q3'23まではFXプライムbyGMO（同年9月にGMOコインと合併）の数値、Q3'23以降はGMOコインの数値です。

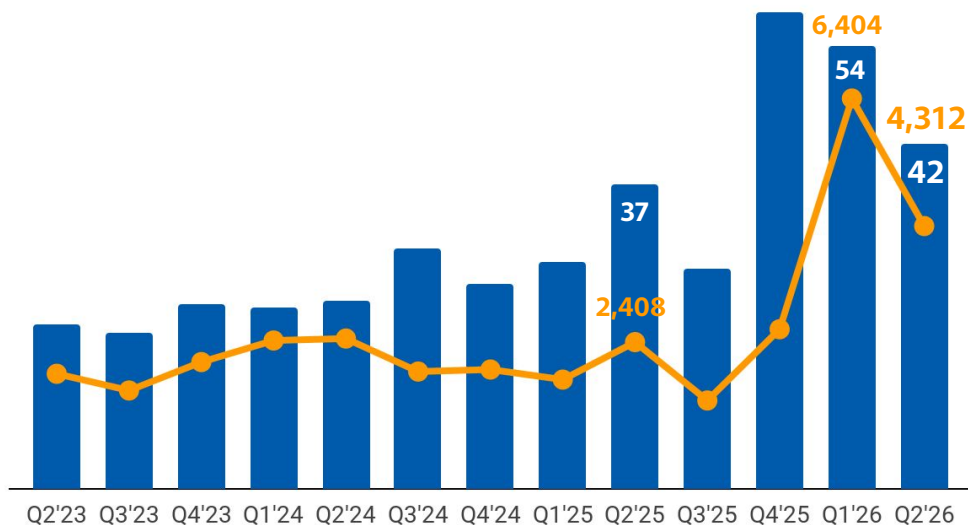
※預り証拠金残高シェアは、金融先物取引業協会公表数値を市場全体として算出しています。

※業界全体預り証拠金残高は、当社数値及び預り証拠金残高シェアとの同一グラフ上での視認性を高めるため、実数値を併記のうえ、グラフ上は1/2スケールで表示しています。

証券・FX事業 | CFD売買代金・収益の推移

GMOクリック証券 GMO外貨

■ 売買代金（兆円） ● 収益（百万円）



※収益は、当社連結損益計算書に基づくCFD収益です。

前年同Q比

売買代金

+13.0%

収益

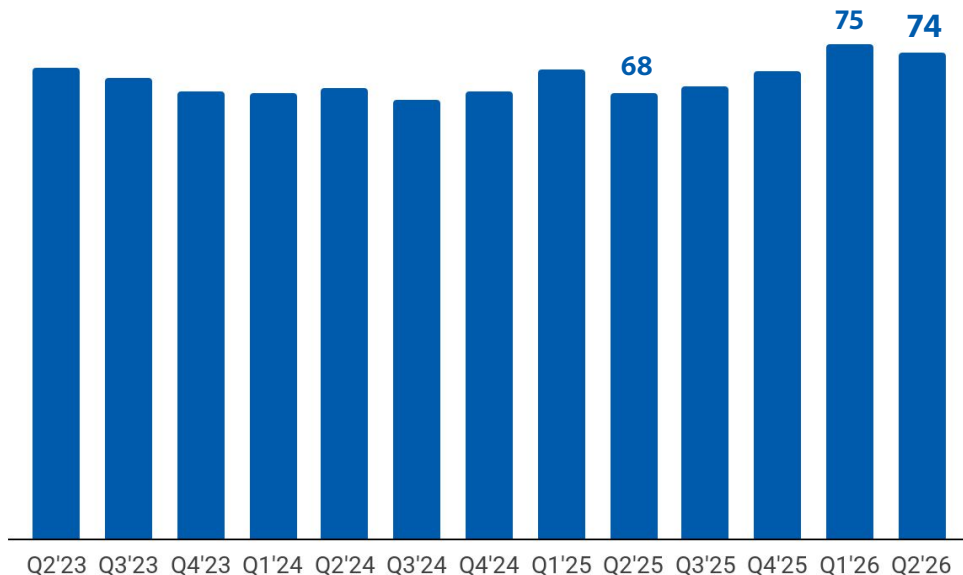
+79.1%

Q2'26も40億円超の高収益を維持
セールスミックスの変化により
Q1'26比で収益は売買代金以上に減少

証券・FX事業 | CFD預り証拠金残高の推移

GMOクリック証券 GMO外貨

(10億円)



前年同Q末比

+9.1%

Q1'26比では微減も高水準を維持

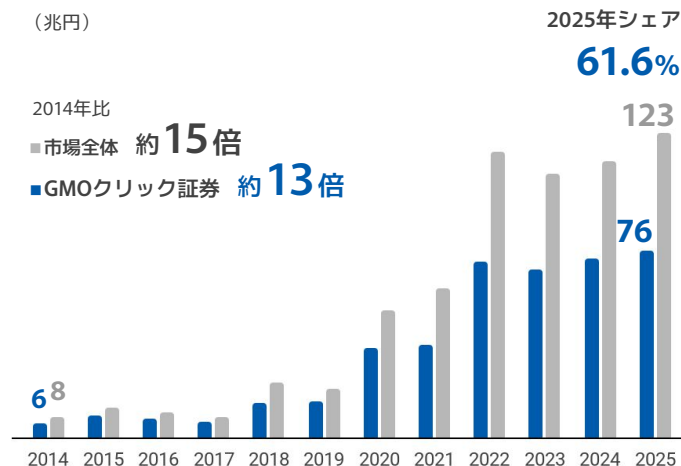
<利便性向上に向けた取り組み>

GMOクリック：商品CFDに円建ての
貴金属3銘柄を追加（2026年6月～）
「金/JPY」「銀/JPY」「プラチナ/JPY」

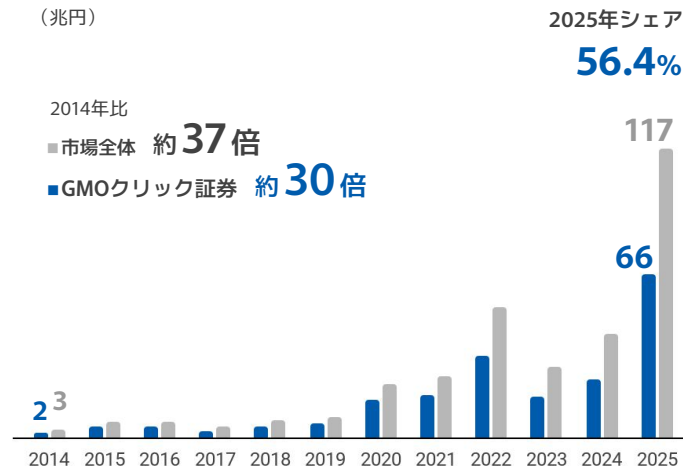
証券・FX事業 | 店頭CFD国内取引高12年連続No.1

GMOクリック証券は店頭CFD市場の黎明期である2010年からサービスを提供
12年連続で国内取引高No.1を獲得し、2021年以降の主要各社参入後もシェアを維持

店頭証券CFD取引高の推移



店頭商品CFD取引高の推移



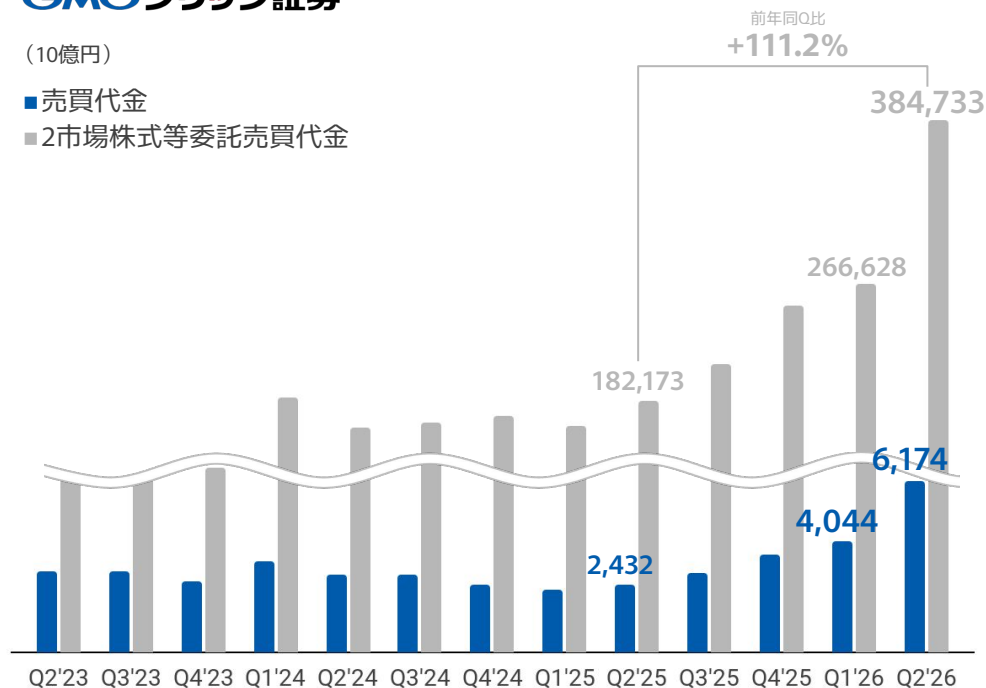
※国内店頭CFD取引高シェアは、日本証券業協会及び日本商品先物取引協会の統計情報より算出しています（2014年1月～2025年12月）。集計対象は、店頭証券CFDは個別株・株価指数・債券・其他有価証券、店頭商品CFDはエネルギー・貴金属・農産物です。

証券・FX事業 | 株式売買代金の推移

GMOクリック証券

(10億円)

■ 売買代金
■ 2市場株式等委託売買代金



日本取引所グループ公表資料より当社作成

※2市場株式等委託売買代金は、当社数値との同一グラフ上での視認性を高めるため、実数値を併記のうえ、グラフ上は1/20スケールで表示しています。

※売買代金シェアは、日本取引所グループ公表数値を市場全体として算出しています。

前年同Q比

+153.9%

活況な相場を受けて
売買代金は5四半期連続で増加
GMOクリック証券は
市場を上回る伸びで推移

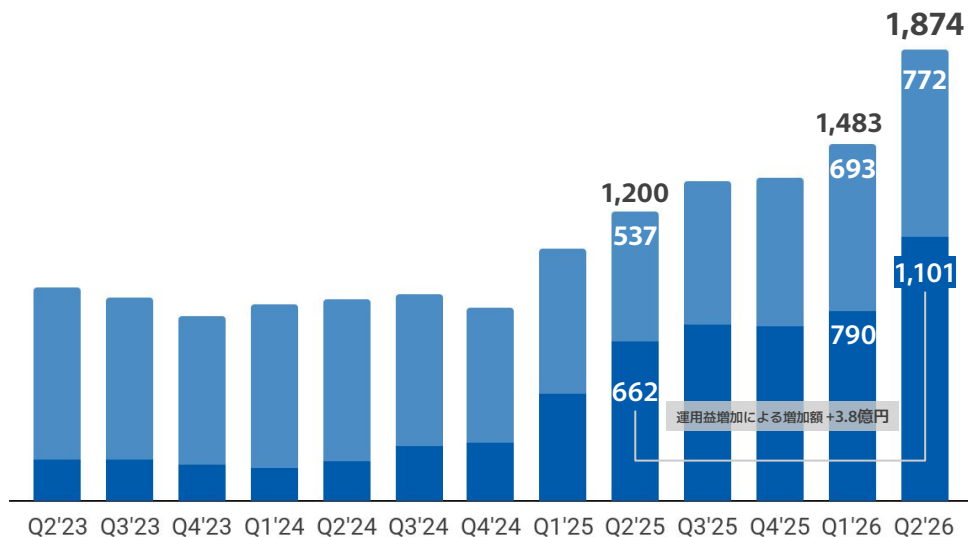
Q2'26売買代金シェア：1.6%
(Q1'26：1.5%)

証券・FX事業 | 金融収益の推移

GMOクリック証券

(百万円)

■ その他（分別金運用益含む） ■ 信用取引収益



前年同Q比

+56.2%

金利上昇を受けて顧客分別金信託の運用益が増加したほか、株式市場の活況を背景に信用取引収益も増加し、金融収益は過去最高を記録

証券・FX事業 | タイ証券における債権残高の状況

2026年6月末時点の約定弁済契約に基づく債権残高は約71億円まで減少
大口債権の返済時期の影響により、四半期では概ね横ばいで推移

■ 2026年6月末時点

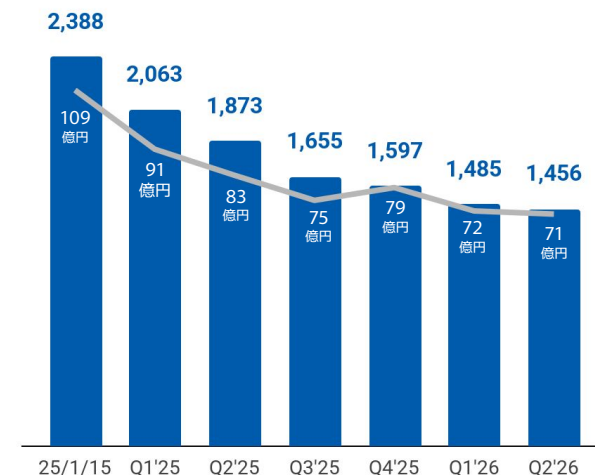
債権残高※	7,126 百万円
保全率	213.5 %
貸倒引当金	760 百万円
最大リスク額	6,365 百万円

担保の内訳

株式	11,188 百万円
不動産	3,852 百万円
社債	176 百万円
合計	15,216 百万円

※約定弁済契約債権の一部には、破産更生債権等及び貸倒懸念債権に区分される債権が含まれています。

■ 約定弁済契約に基づく債権残高 (百万THB)

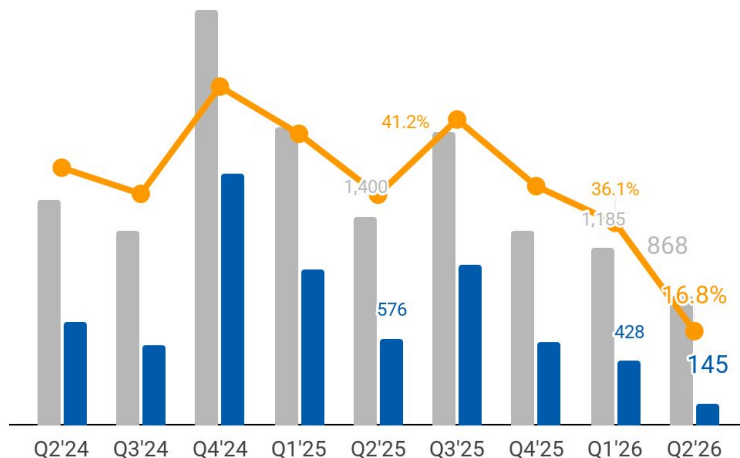


暗号資産事業 | 業績推移

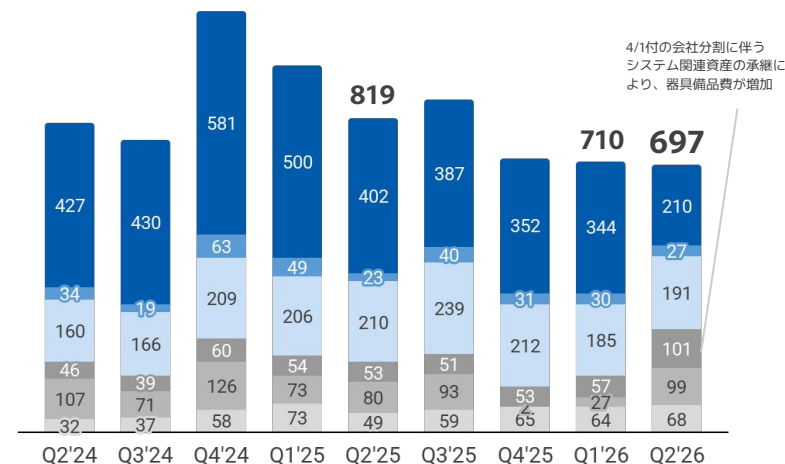
市場低迷に伴う取引量の減少及びカバー環境の悪化により営業利益率が低下
コスト最適化によるミニマム運営体制を継続

(百万円)

■ 営業収益 ■ 営業利益 ● 営業利益率



■ 取引関係費 (除, 広宣費) ■ 広告宣伝費 ■ 人件費
■ 不動産関係費 ■ 事務費 ■ その他



4/1付の会社分割に伴う
システム関連資産の承継に
より、器具備品費が増加

※2025年12月期第4四半期において、ステーキング運用手数料のうち顧客負担分について、当社費用から当社立替金へ処理方法を変更いたしました。本変更は営業収益と費用に係るものであり、営業利益への影響はありません。

本変更は2025年12月期第4四半期に一括して反映しましたが、比較の有用性を高める観点から、本ページのグラフに限り、当該影響額を各四半期の発生ベースで表示しております。

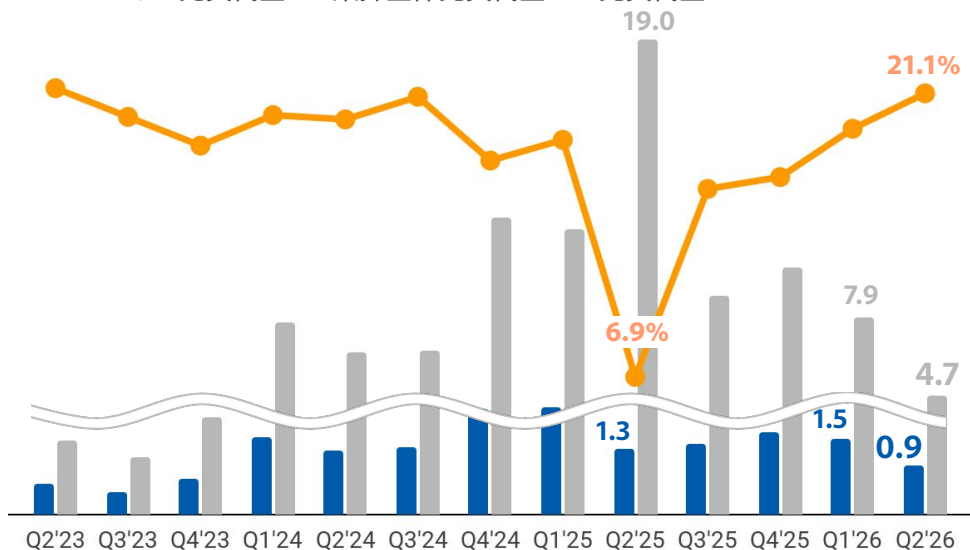
※GMOコイン株式会社において2026年6月に暗号資産セグメント・FXセグメント間の費用按分方法を見直したことに伴い、Q2'26にはQ1'26に対応する費用の一部が含まれております。

暗号資産事業 | 売買代金の推移

GMOコイン

(兆円)

■ GMOコイン売買代金 ■ 業界全体売買代金 ● 売買代金シェア



日本暗号資産等取引業協会「統計情報」より当社作成

※GMOコイン売買代金は、日本暗号資産等取引業協会への月次報告数値を集計しています。

※売買代金シェアは、日本暗号資産等取引業協会公表数値を市場全体として算出しています。

※業界全体売買代金は、当社数値及び売買代金シェアとの同一グラフ上での視認性を高めるため、実数値を併記のうえ、グラフ上は1/2スケールで表示しています。

前年同Q比

▲23.8%

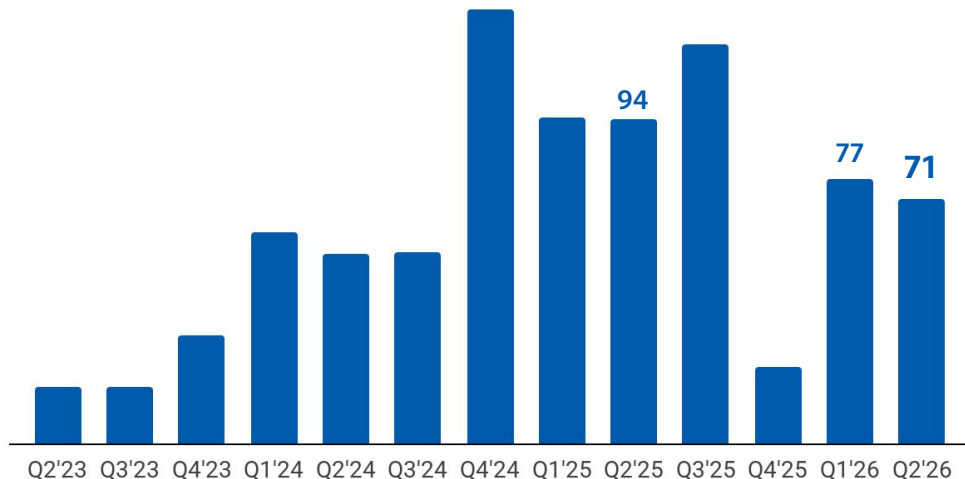
業界全体の売買代金が急減する中でも
GMOコインのシェアは21.1%へ拡大

<利便性向上に向けた施策>
金・銀・プラチナに連動する
「ジパングコイン (ZPG)」シリーズの
取扱開始を記念したキャンペーンを実施

暗号資産事業 | ステーキング収益の推移

GMOコイン

(百万円)



前年同Q比

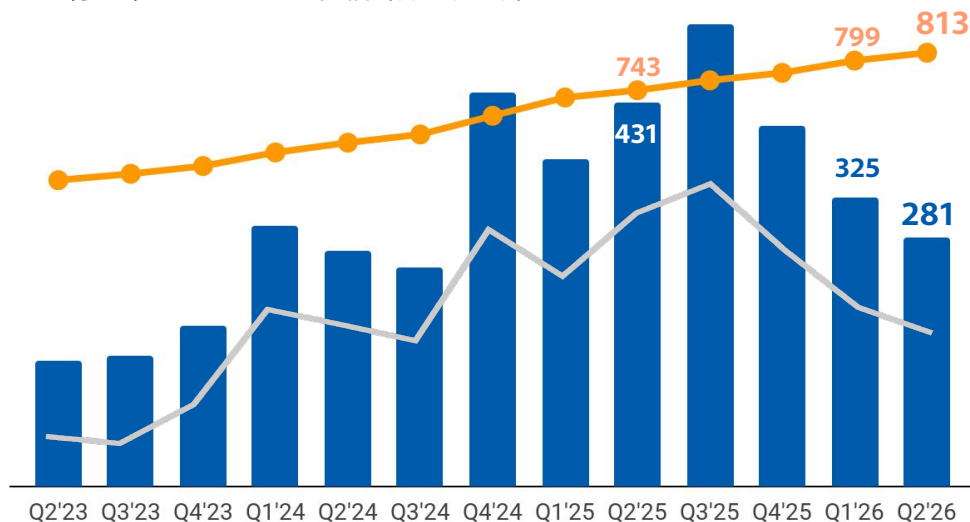
▲24.6%

暗号資産価格の下落に伴う
預り資産の減少や競合とのレート競争、
報酬（利回り）の低下に加え、
利用促進に向けたキャンペーンによる
手数料還元の影響もあり、収益は減少

暗号資産事業 | 口座数と顧客預り資産の推移

GMOコイン

■顧客預り資産（10億円） ●口座数（千口座）
●（参考）ビットコイン価格（各四半期末）



※ビットコイン価格（各四半期末）は、GMOコイン販売所におけるMIDレートの終値に基づき作成しています。

口座数

+7.0万口座

預り資産

▲34.9%

口座数は80万口座を突破し、
顧客基盤は順調に拡大
暗号資産の預り保有数量は増加も
価格下落に伴い資産は減少傾向

暗号資産事業 | 規制環境の変化

- 2026年7月に金融商品取引法等改正法が成立・公布され、暗号資産に関する利用者保護と市場の信頼性向上に向けた制度整備が本格化
- 制度改正の動向を注視・適切に対応し、健全で開かれた暗号資産関連市場の発展に貢献

7月15日 成立 7月23日 公布

- 2026年7月15日に「金融商品取引法及び資金決済に関する法律の一部を改正する法律」が成立し、同月23日に公布

2026年後半～ 制度の具体化

- 暗号資産不正流出時における補償原資として、責任準備金の積立てを義務化
- 実務への影響が大きい具体的な積立率については、管理する暗号資産の残高やセキュリティ水準を踏まえ、内閣府令で定められる予定

公布後1年以内 改正法施行（予定）

- 暗号資産交換業の規制根拠が資金決済法から金融商品取引法へ移行
- 利用者保護の強化と市場の透明性・信頼性の向上

2028年以降 税制改正（見込み）

- 特定暗号資産を対象に、現行の総合課税（最大55%）から一律20%の申告分離課税へ移行する見通し
- 税制面の環境整備により、暗号資産取引の活性化に一定の期待

※施行時期、対象範囲その他制度の詳細は、今後の法令・税制等の整備により変更される場合があります。

その他 | 共通ID「1アカウント」新サービス

2026年7月、電力サービス「1アカウント でんき」と
家計簿アプリ「家計ボード byGMO」の提供を開始

生活インフラサービス

2026年7月1日リリース

1 アカウント でんき

- 市場連動型プランを採用
 - ー 安い時間帯の利用で、電気料金の節約が期待できる
- 現在の料金単価や使用量はアプリで確認
 - ー アプリは「1アカウント」で簡単・安全にログイン
- 電気料金100円(税込)につき1ポイント還元
 - ー ポイントはギフトカード等に交換可能

家計管理サービス

2026年7月13日リリース

家計ボード by GMO

- 全機能無料、銀行口座・クレカ等と自動連携
 - ー 口座連携数は無制限
- 家計を自動で可視化
 - ー 明細を自動分類し、収支や資産を一元管理
- 独自機能「うるおいチェック」
 - ー 支出をゲーム感覚で3つに分類し、傾向を可視化

共通ID「1アカウント」で利用できるサービスを拡充し、
日常生活における継続的な顧客接点を創出

その他 | 共通ID「1アカウント」グループサービス連携

2026年7月28日、GMOペパボの3サービスと連携開始

1 アカウント ひとつで、シームレスに利用可能に

連携対象サービス

minne
by **GMO** ペパボ

minne (ミンネ)
国内最大級の
ハンドメイドマーケット
アプリDL数：1,778万DL※

**MuuMuu
Domain**
by **GMO** ペパボ

ムームードメイン
国内最大級の
ドメイン取得サービス
契約件数：101万件※

SUZURI
by **GMO** ペパボ

SUZURI (スズリ)
オリジナルグッズ・アイテムの
作成・販売サービス
会員数：249万人※

GMOペパボのユーザー基盤との連携で「1アカウント」の利用機会を拡大するとともに
グループサービス間の相互利用を促進し、共通IDとしての魅力向上を図る

※2026年6月末時点

アジェンダ

- 01 決算概要
- 02 事業の状況
- 03 **Appendix**

ビジョン・成長戦略 | 持続的成長に向けて

テクノロジー活用余地が大きく成長性の高い分野に積極的に投資
「No.1プラットフォーム」を創出し、持続的成長を目指す

事業ポートフォリオの多角化

GMOクリック証券
GMO外貨 GMOコイン

主力事業の収益最大化

シナジー発揮と経営効率を追求
圧倒的な顧客基盤を構築し
成長原資を創出



GMOオフィスサポート

ヘルステックONE ① アカウント
by GMO

新規事業への投資

「安さ」と「利便性」を追求
成長性の高い分野での
新たな価値創造と成長を図る

Q2'26（4-6月） | 決算サマリー（前四半期比）

(百万円)	Q1'26	Q2'26	Q/Q	
	(1-3月)	(4-6月)	増減額	増減率
営業収益	16,234	13,309	▲2,925	▲18.0%
純営業収益	15,017	12,078	▲2,939	▲19.6%
営業利益	6,462	3,888	▲2,573	▲39.8%
（営業利益率）	39.8%	29.2%	—	▲10.6pt
経常利益	6,435	3,825	▲2,610	▲40.6%
最終利益	4,205	2,318	▲1,886	▲44.9%

Q2'26（4-6月） | セグメント別の状況（前四半期比）

（ ）内は前四半期比

（百万円）

証券・FX事業

	Q1'26（1-3月）	Q2'26（4-6月）
営業収益	14,261	11,729（▲17.8%）
営業利益	6,388	4,028（▲36.9%）
（営業利益率）	44.8%	34.3%（▲10.4pt）

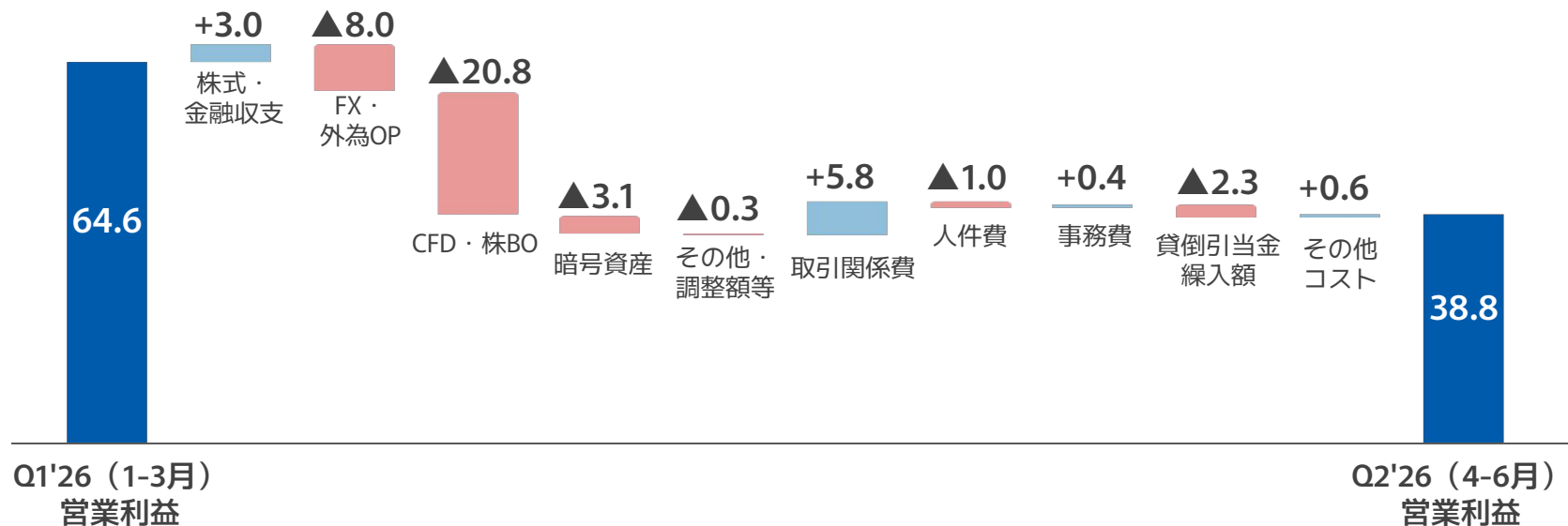
暗号資産事業

営業収益	1,185	868（▲26.7%）
営業利益	428	145（▲65.9%）
（営業利益率）	36.1%	16.8%（▲19.3pt）

Q2'26（4-6月） | 営業利益増減（前四半期比）

Q1'26の過去最高水準からCFD収益が反動減、
店頭FXと暗号資産の減収も重なり減益での着地

（億円）



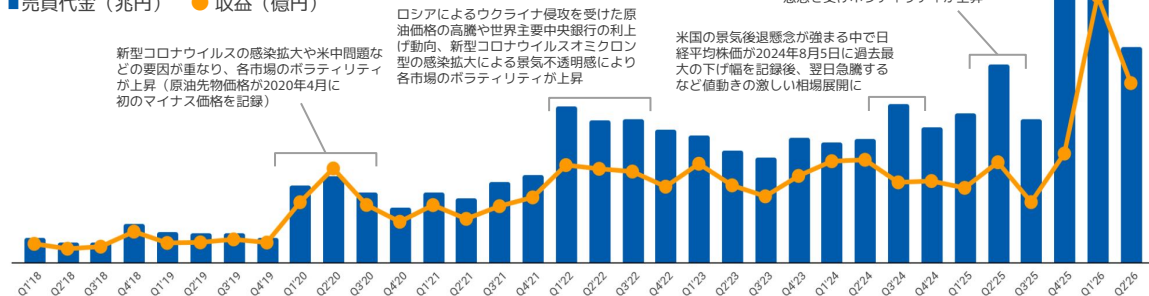
証券・FX事業 | CFDのあゆみ

- 2010年4月、GMOクリック証券は日本初となる自社開発取引システムでCFD取引サービスの提供を開始
- 銘柄拡充と取引ツールの高度化を継続的に推進するとともに、預り証拠金残高・取引人数を着実に拡大し、市場の活況局面において取引規模の拡大と収益成長を実現

GMOクリック証券

2018年12月期以降の売買代金と収益の推移

■ 売買代金 (兆円) ● 収益 (億円)



国内店頭CFD取引高シェア

12年連続 No.1

(2014年～2025年)

150銘柄以上
世界中の多様な
資産に投資可能

スマホ・PC
進化し続ける
使いやすいツール

少額取引可能
多様なニーズに
応える商品設計



立ち上げ期

サービス基盤の構築と銘柄整備

拡大期

ラインナップ強化とスマホ対応

進化・成長加速期

取引ツールの継続的な改善と商品力強化による成長加速

2010/4 : CFD取引サービス開始 (株価指数先物CFD)
2010/7 : 金・原油など商品先物CFDの取扱開始
2011/5 : アジア・欧州の主要株価指数銘柄を追加
2011/8 : CFD取引画面を大幅リニューアル
2011/11 : 「プラチナチャートCFD」の提供開始
2011/11 : 取扱銘柄を大幅リニューアル、決済期日のない銘柄へ順次切り替え

2014/12 : 外国株CFD取引の取扱開始
2015/4 : スマホアプリ「CFDroid」リリース
2015/6 : スマホアプリ「iClickCFD」リリース
2016/1 : 天然ガスなど2銘柄を追加
2016/3 : 海外ETF (上場投信) 銘柄の取扱開始
2016/8 : レバETF・ETN系など6銘柄を追加
2018/3 : リッチクライアント型取引ツール「はっちゅう君CFD」リリース

2020/12 :
旧スマホアプリを統合し、機能・UI/UXを全面的に再設計した「GMOクリック CFD」をリリース。以降、チャートやテクニカル指標など、継続的な機能強化を実施
2021/9 : 株式系など7銘柄を追加
2022/4 : 半導体関連などの9銘柄を追加
2023/9 : 最小取引数量を引き下げ少額取引に対応

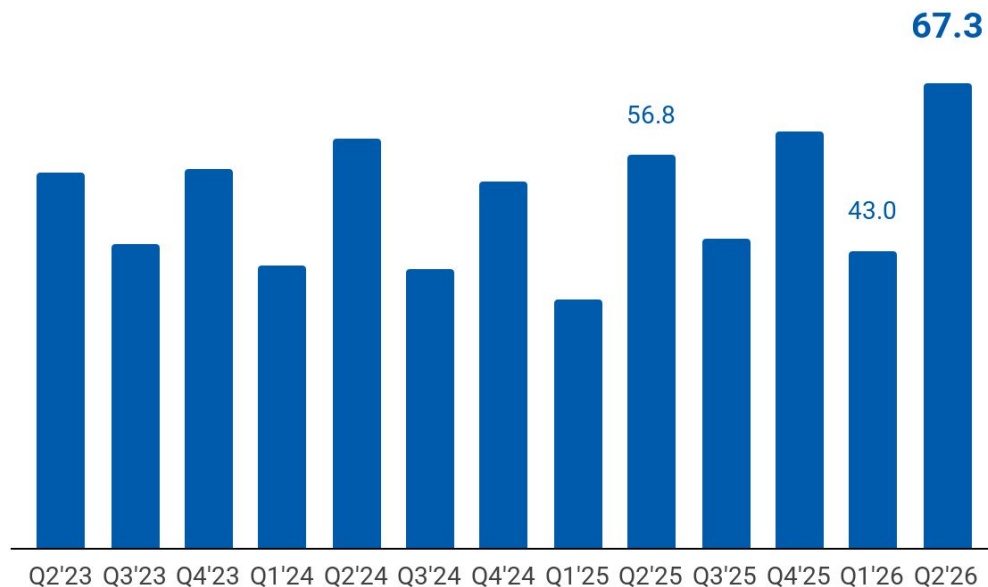
2023/10 : 小麦など農作物系商品CFD5銘柄を追加
2023/11 : ガソリンなど商品系3銘柄を追加
2023/12 : 指数系など12銘柄を追加
2024/6 : 「GMOクリック CFD」Apple Watchに対応
2024/9 : 米国株など10銘柄追加、NYダウ全銘柄網羅
2026/4 : プラチナスポットの取扱再開
2026/6 : 商品CFDに円建ての貴金属3銘柄を追加

※国内店頭CFD取引高シェアは、日本証券業協会及び日本商品先物取引協会の統計情報より算出しています (2014年1月～2025年12月)。集計対象は、店頭証券CFDは個別株・株価指数・債券・その他有価証券、店頭商品CFDはエネルギー・貴金属・農産物です。

証券・FX | 貸株残高の推移

(10億円)

GMOクリック証券



安定的に推移

足元（7/31）は743億円

証券・FX | タイ証券における債権残高の状況

2026年6月末時点の約定弁済契約に基づく債権残高は約71億円まで減少
大口債権の返済時期の影響により、四半期では概ね横ばいで推移

■ 全債権・担保の状況

(単位：百万円)

項目		約定弁済契約債権※	その他不良債権
残高		7,126	18,404
担保の状況	株式	11,188	—
	不動産	3,852	—
	社債	176	—
	合計	15,216	—
保全率		213.5%	—
貸倒引当金		760	18,404
貸倒引当金の計上方法		延滞の有無に関わらず、債務者ごとに貸付残高から担保評価額を控除した金額を計上	
担保の評価方法		・ 株式：期末株価に担保株式数を乗じたもの ・ 不動産：SEC登録の不動産鑑定士による鑑定評価に一定の掛け目を乗じたもの ・ その他：額面	
最大リスク額（約定弁済契約残高-約定弁済契約の貸倒引当金+その他不良債権の担保額）		6,365	

※ 約定弁済契約債権の一部には、破産更生債権等及び貸倒懸念債権に区分される債権が含まれています。

■ 約定弁済契約債権の保全率ごとの残高

(単位：百万円)

保全率	残高	貸倒引当金
0～100%	1,361	760
100%～150%	750	—
150%～200%	233	—
200%～	4,780	—
合計	7,126	760

※ 円表記の各数値：2026年6月30日時点のレートで円換算

< 参考情報 >

過去2事業年度に実施した担保株式の強制処分時における株価の下落率
・ 最大値 ▲79.3% ・ 平均値 ▲47.0% ・ 最小値 ▲11.4%

■ 約定弁済契約債権の回収計画について

- ・ 2025年中に5名が完済し、約定弁済契約を締結している相手方は15名から10名に減少
- ・ 約定弁済契約に従い回収を行い、2026年中に債権元本全体の9割以上を回収する計画

四半期推移 | PL

(単位：百万円)

	FY2025					FY2026					Q2累計（1-6月）	
	Q1	Q2	Q3	Q4	通期	Q1	Q2	Q3	Q4	通期	増減額	増減率
営業収益	12,977	13,916	11,519	11,104	49,518	16,234	13,309	-	-	-	2,650	9.9%
受入手数料	1,298	1,048	1,099	864	4,310	785	647	-	-	-	▲912	▲38.9%
トレーディング損益	9,610	10,634	8,022	7,792	36,059	12,730	9,632	-	-	-	2,118	10.5%
金融収益	1,366	1,555	1,705	1,682	6,309	1,920	2,307	-	-	-	1,306	44.7%
その他の営業収益	35	38	27	10	111	10	10	-	-	-	▲53	▲72.6%
その他の売上高	667	640	664	754	2,726	788	710	-	-	-	191	14.6%
金融費用	708	725	794	816	3,045	965	1,016	-	-	-	548	38.2%
売上原価	200	233	204	246	884	252	214	-	-	-	32	7.5%
純営業収益	12,067	12,958	10,520	10,041	45,587	15,017	12,078	-	-	-	2,069	8.3%
販売費及び一般管理費	7,846	7,402	6,606	7,865	29,721	8,555	8,189	-	-	-	1,495	9.8%
営業利益	4,221	5,555	3,914	2,175	15,866	6,462	3,888	-	-	-	573	5.9%
営業外収益	79	148	▲60	47	214	292	31	-	-	-	96	42.2%
営業外費用	730	219	52	▲179	823	319	94	-	-	-	▲537	▲56.5%
経常利益	3,569	5,484	3,800	2,402	15,257	6,435	3,825	-	-	-	1,207	13.3%
特別利益	5	5	5	▲6	9	-	-	-	-	-	▲11	-
特別損失	0	41	134	79	255	79	203	-	-	-	241	576.1%
税金等調整前四半期純損益	3,575	5,448	3,672	2,316	15,012	6,356	3,622	-	-	-	954	10.6%
法人税等	1,087	1,827	1,025	820	4,760	2,263	1,349	-	-	-	698	23.9%
親会社株主に帰属する四半期純損益	2,504	3,707	2,698	1,537	10,448	4,205	2,318	-	-	-	312	5.0%

四半期推移 | セグメント別/商品別の業績

(単位：百万円)

	FY2025					FY2026					Q2累計 (1-6月)	
	Q1	Q2	Q3	Q4	通期	Q1	Q2	Q3	Q4	通期	増減額	増減率
証券・FX事業												
営業収益	10,285	11,833	8,810	9,196	40,125	14,261	11,729	-	-	-	3,872	17.5%
株式・ETF等*	273	277	228	70	849	79	82	-	-	-	▲389	▲70.7%
取引所FX・取引所CFD	114	96	82	134	428	133	97	-	-	-	19	9.4%
通貨関連店頭デリバティブ	6,703	7,488	5,294	4,609	24,096	5,701	4,896	-	-	-	▲3,593	▲25.3%
CFD・株BO	1,818	2,432	1,478	2,675	8,405	6,452	4,363	-	-	-	6,564	154.4%
金融収益	1,343	1,513	1,658	1,633	6,149	1,870	2,244	-	-	-	1,258	44.1%
その他	31	25	67	71	196	24	45	-	-	-	12	22.0%
営業利益	3,246	5,167	3,122	1,884	13,420	6,388	4,028	-	-	-	▲1,138	▲22.0%
暗号資産事業												
営業収益	2,024	1,443	2,044	1,153	6,666	1,185	868	-	-	-	▲574	▲39.8%
営業利益	1,040	576	1,074	555	3,246	428	145	-	-	-	▲430	▲74.7%
その他												
営業収益	670	639	664	754	2,729	788	710	-	-	-	70	11.1%
営業利益	▲64	▲188	▲283	▲264	▲800	▲354	▲285	-	-	-	97	-

※株式・ETF等は、株式・ETF等の取引に係る委託手数料及びその他の受入手数料、募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の取扱手数料、投資信託に係るその他の受入手数料を含みます。

四半期推移 | 販売費及び一般管理費

(単位：百万円)

	FY2025					FY2026					Q2累計 (1-6月)	
	Q1	Q2	Q3	Q4	通期	Q1	Q2	Q3	Q4	通期	増減額	増減率
取引関係費	3,200	3,044	2,890	3,229	12,365	3,601	3,021	-	-	-	378	6.1%
（内、広告宣伝費）	1,693	1,590	1,604	2,139	7,028	2,096	1,819	-	-	-	632	19.2%
人件費	1,268	1,331	1,288	1,269	5,157	1,595	1,695	-	-	-	691	26.6%
不動産関係費	1,008	990	977	981	3,958	1,045	1,032	-	-	-	78	3.9%
事務費	762	807	775	796	3,142	1,056	1,009	-	-	-	496	31.6%
減価償却費	487	494	505	505	1,993	494	490	-	-	-	2	0.2%
租税公課	367	394	423	440	1,626	523	477	-	-	-	238	31.3%
貸倒引当金繰入額	400	▲9	▲596	292	86	▲120	109	-	-	-	▲401	-
のれん償却額	268	267	268	268	1,072	273	273	-	-	-	11	2.1%
その他	83	79	73	81	318	85	78	-	-	-	-	0.3%
販売費及び一般管理費	7,846	7,402	6,606	7,865	29,721	8,555	8,189	-	-	-	1,495	9.8%

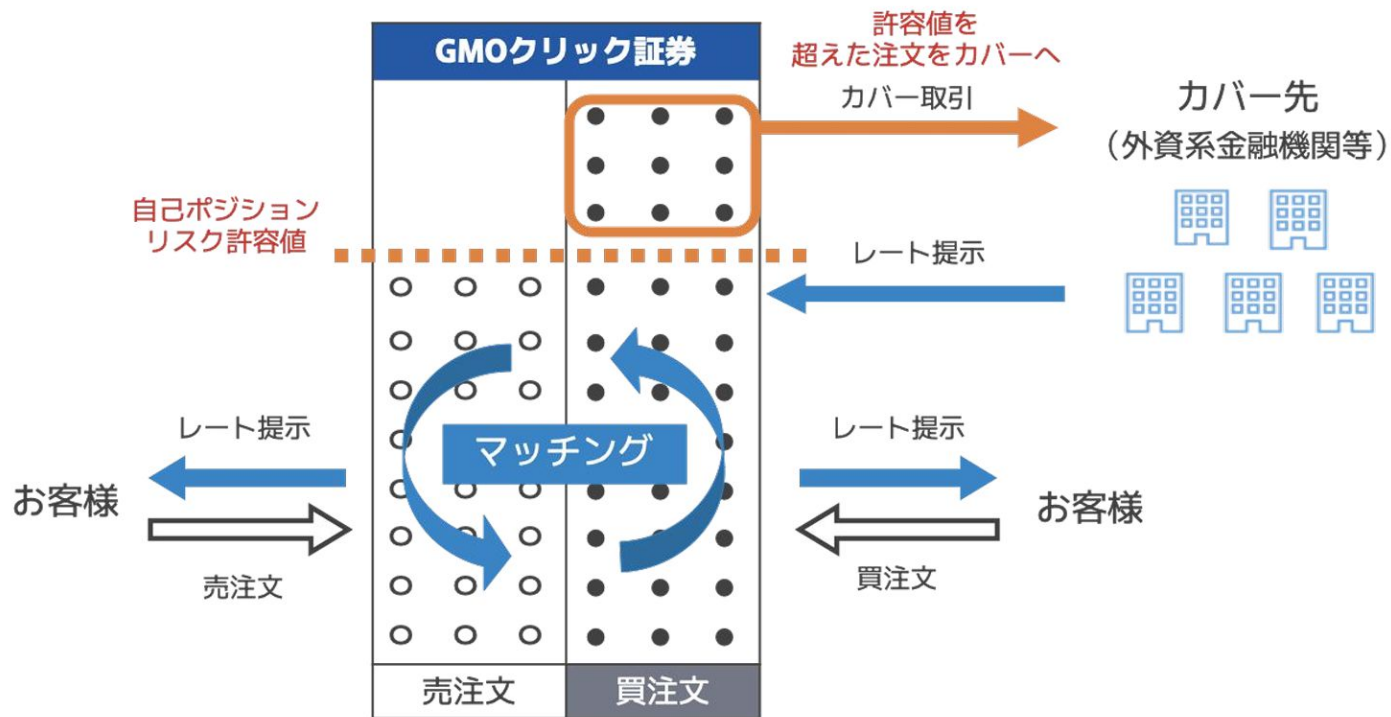
四半期推移 | 主要KPI

			FY2025				FY2026			
			Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
GMOクリック証券										
株式	売買代金	(百万円)	2,273,384	2,432,020	2,875,901	3,539,526	4,044,878	6,174,020	-	-
	約定件数	(件)	2,140,688	2,267,087	2,383,117	2,612,778	3,098,222	3,142,492	-	-
	信用取引残高	(百万円)	111,825	100,375	104,403	107,495	122,081	141,246	-	-
	口座数	(口座)	539,767	544,173	549,370	556,001	565,573	573,560	-	-
店頭FX	売買代金	(億円)	6,836,465	6,783,566	5,422,804	5,556,406	6,124,189	4,128,001	-	-
	取引数量	(百万通貨)	4,767,344	4,931,610	3,798,812	3,766,579	4,164,255	2,769,143	-	-
	預り証拠金残高	(百万円)	255,248	260,573	269,111	268,880	269,288	277,731	-	-
	口座数	(口座)	850,319	856,646	862,968	870,198	879,334	887,463	-	-
CFD	売買代金	(億円)	268,702	357,374	258,978	543,589	476,038	388,740	-	-
	預り証拠金残高	(百万円)	70,016	66,332	67,234	69,183	72,996	71,775	-	-
	口座数	(口座)	214,413	218,229	222,172	227,393	234,799	240,387	-	-
全商品	預り資産	(百万円)	1,322,817	1,365,045	1,204,131	1,217,022	1,255,462	1,283,624	-	-
GMO外貨										
店頭FX	売買代金	(億円)	1,575,046	1,525,944	1,218,158	1,370,381	1,447,949	1,044,849	-	-
	取引数量	(百万通貨)	1,192,420	1,195,777	927,856	1,027,467	1,101,366	776,043	-	-
	預り証拠金残高	(百万円)	106,499	108,670	113,010	112,592	117,517	122,950	-	-
	口座数	(口座)	479,828	483,237	485,622	487,494	489,583	491,425	-	-
CFD	売買代金	(億円)					69,721	35,204	-	-
	預り証拠金残高	(百万円)					2,638	2,800	-	-
	口座数	(口座)					13,413	14,150	-	-
GMOコイン										
暗号資産	売買代金	(百万円)	2,145,921	1,312,000	1,431,679	1,667,875	1,530,518	999,537	-	-
	内、取引所取引	(百万円)	1,941,539	1,202,619	1,326,575	1,550,949	1,451,621	947,042	-	-
	内、販売所取引	(百万円)	204,382	109,381	105,104	116,925	78,897	52,494	-	-
	預り資産	(百万円)	369,226	431,980	520,564	405,205	325,025	281,145	-	-
	口座数	(口座)	729,806	743,412	761,918	775,971	799,081	813,769	-	-

※GMOコイン売買代金は、日本暗号資産等取引業協会への月次報告数値を集計しています。

証券・FX事業 | 店頭FXのビジネスモデル

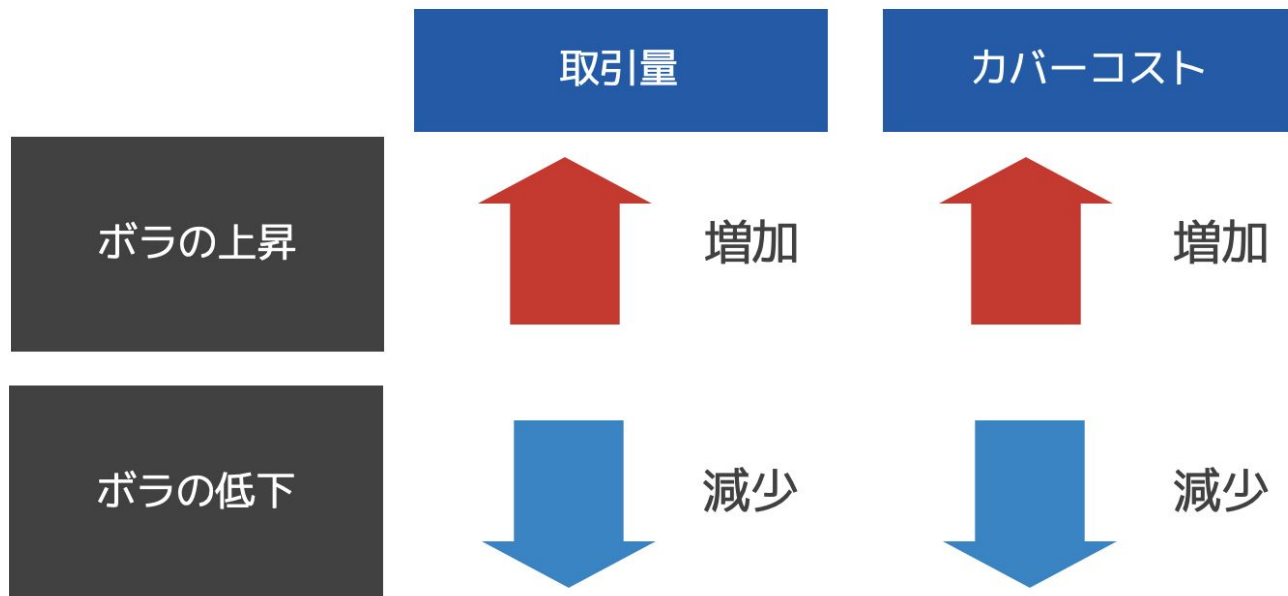
効率的なマッチングとポジションの保有リスクをヘッジする徹底した管理を追求



証券・FX事業 | 店頭FXにおけるボラティリティと収益の関係

収益
構造

$$\begin{array}{cc} \text{対顧客取引} & \text{カバー取引} \\ \text{(対顧客スプレッド} \times \text{取引数量)} - \text{(カバースプレッド} \times \text{カバー数量)} \end{array}$$

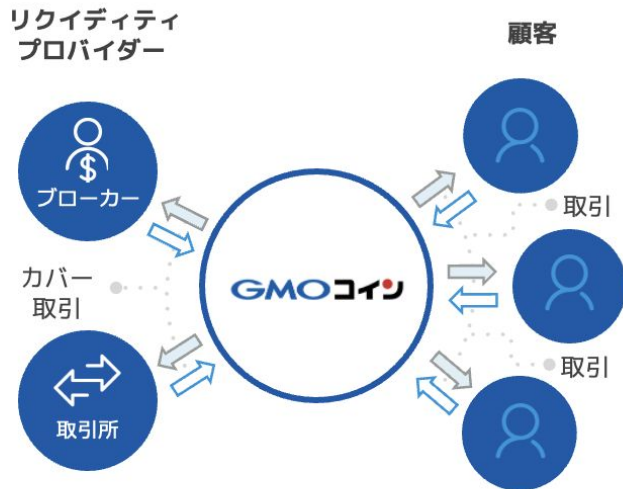


(上記は概念図)

暗号資産事業 | ビジネスモデル

販売所モデル

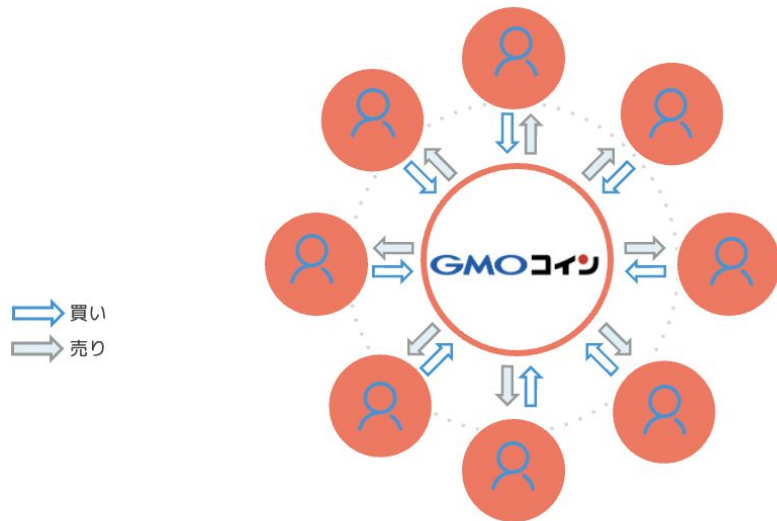
GMOCoinが顧客取引の相手方となる取引
保有ポジションはカバー取引でヘッジ



主な収入源：スプレッド（売値と買値の差）

取引所モデル

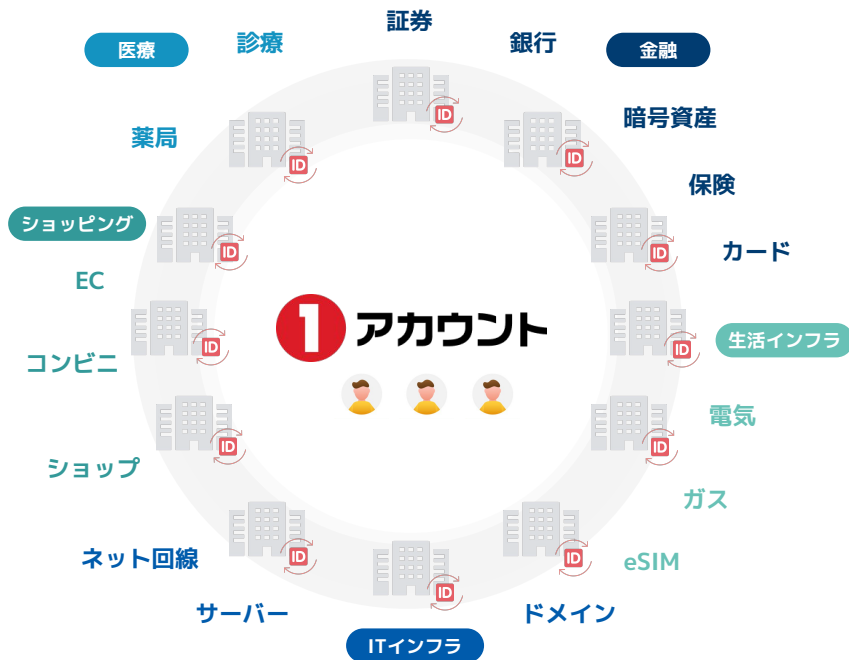
GMOCoinは取引をマッチングする場を提供
顧客の取引毎に手数料を受け取る



主な収入源：取引手数料

その他 | 共通ID「1アカウント」起点のエコシステム構築

「1アカウント」のIDが各社サービスのハブとなることで
効率的な顧客獲得と圧倒的に便利なユーザー体験の提供を目指す



あらゆる企業が参加し共創する
"オープンなエコシステム"
連携企業の事業成長を加速させる
No.1のID統合プラットフォーム へ

連携企業は段階的に拡大

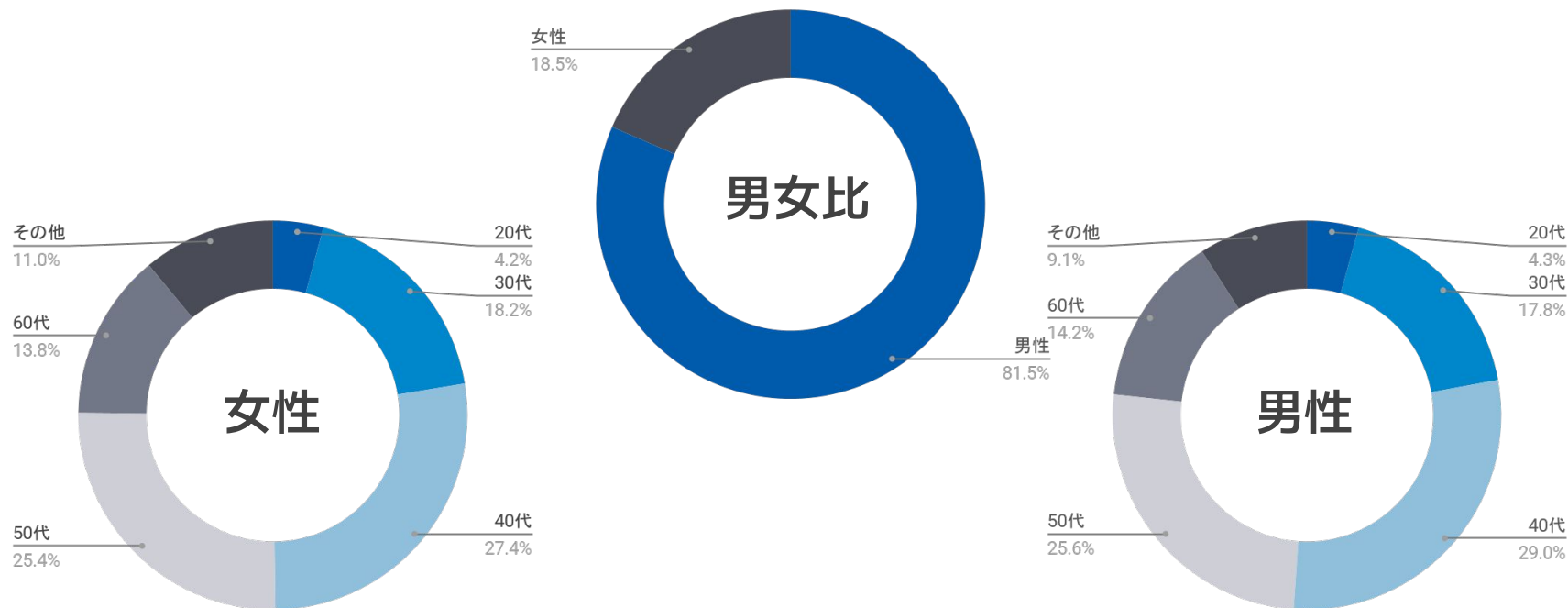
GMO INTERNET GROUP

外部企業



顧客属性 | GMOクリック証券 – 証券取引口座

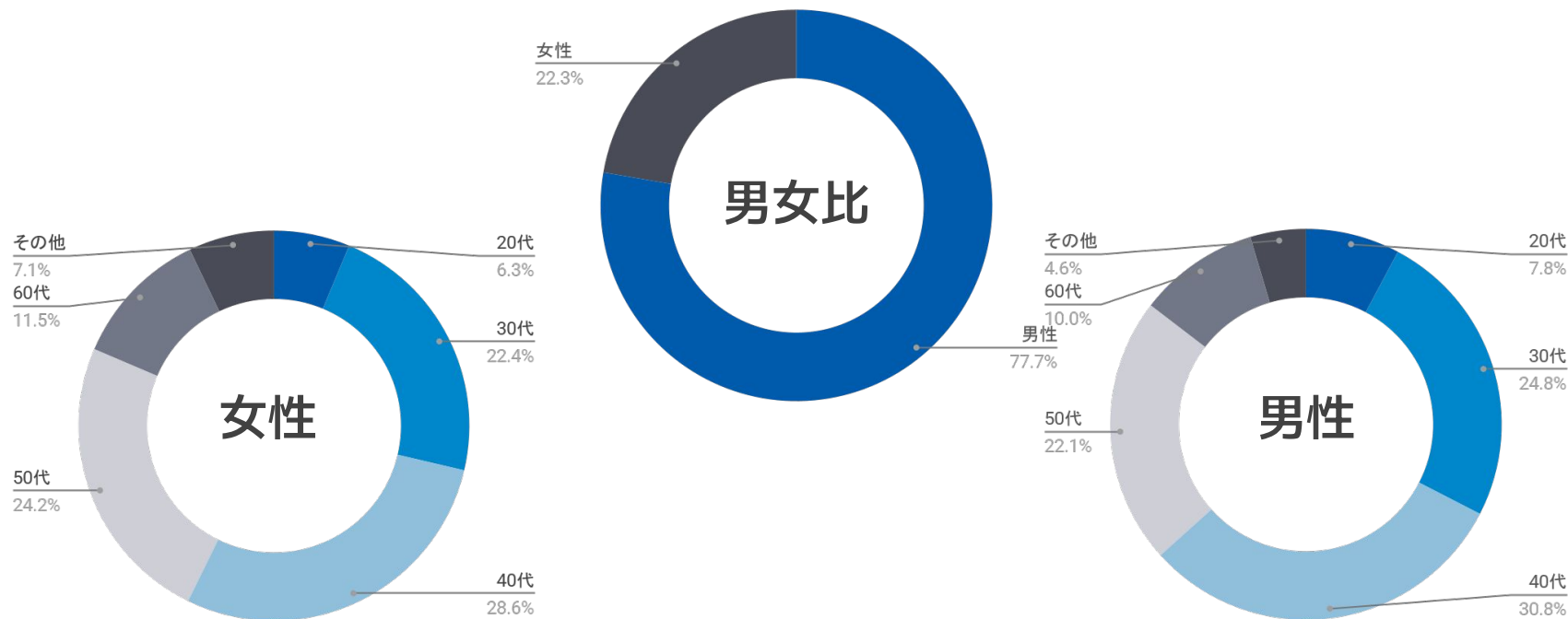
GMOクリック証券



2026年6月30日現在

顧客属性 | GMOクリック証券 – FX専用取引口座

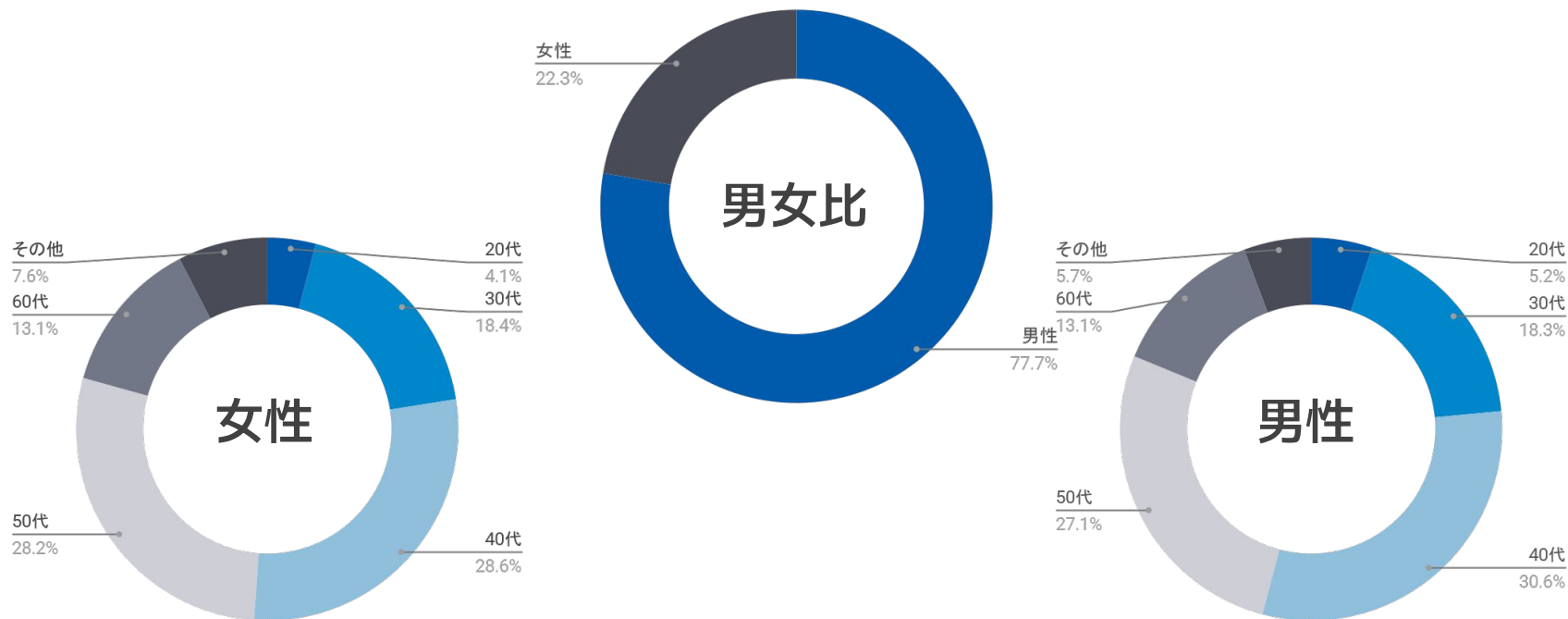
GMOクリック証券



2026年6月30日現在

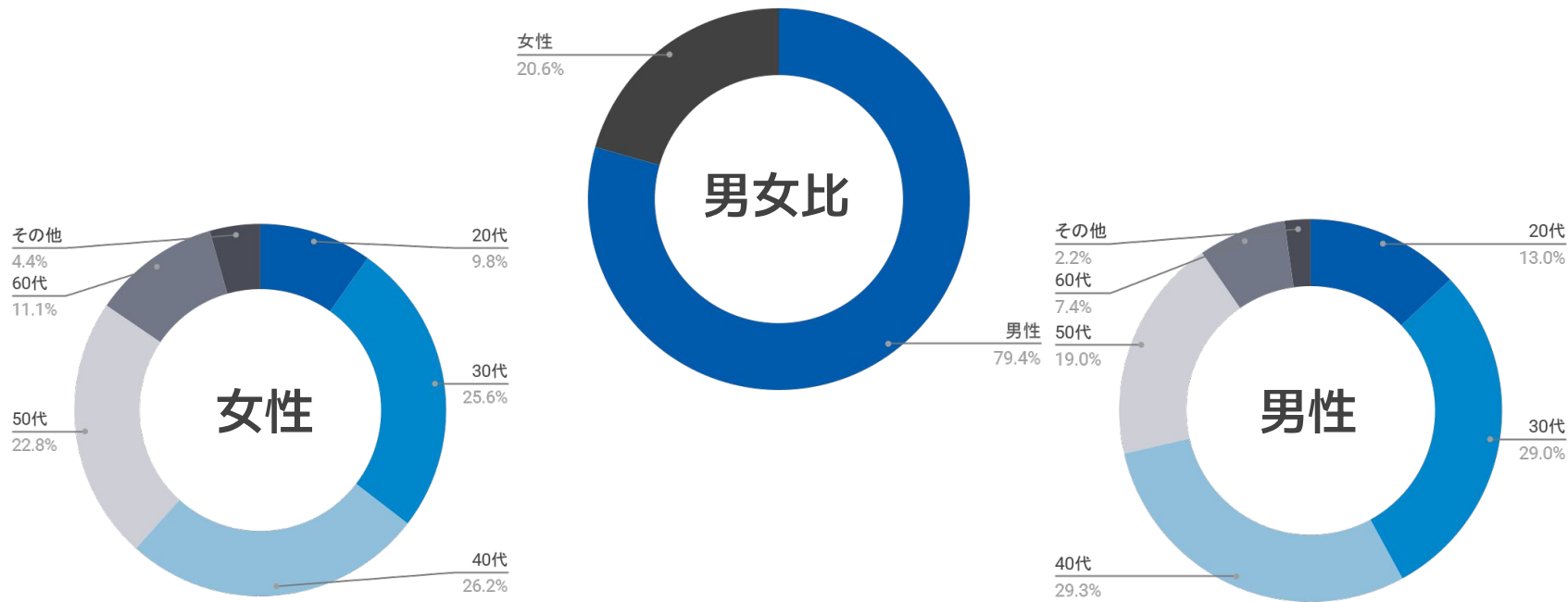
顧客属性 | GMO外貨

GMO外貨



2026年6月30日現在

顧客属性 | GMOコイン- 暗号資産口座



2026年6月30日現在

免責事項

本資料には、2026年8月5日現在の将来に関する前提、見通し、計画等に基づく予測が含まれています。これらは、世界経済、競争状況、為替変動等に関わるリスクや天変地異などの不確定要因により、実際の業績が記載の予測と大きく異なる可能性があります。また、マーケットシェアなどの数値には一部当社推計値が含まれており、調査機関により異なる場合があります。資料に掲載されている情報は、情報の提供を目的としたものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。当該情報に基づいて被ったいかなる損害に関しても、その理由の如何に関わらず一切の責任を負うものではありません。